２０２６年

北海道地方　１０月の天候

２０２６年１１月５日
札幌管区気象台
気象防災部　予報課

概況

── 暖かい空気に覆われやすくかなりの高温。高気圧に覆われやすく多照とかなりの少雨。 ──

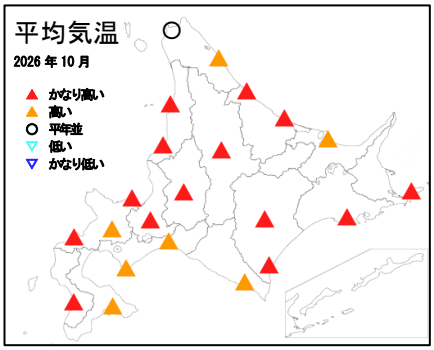
10 月は、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧や前線の影響を受けにくかった。このため、北海道地方の降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。また、偏西風が平年より北を流れて暖かい空気に覆われやすかったため、気温はかなり高かった。特に、太平洋側の月平均気温の平年差は、1946 年の統計開始以降、10 月として大きい方から第 2 位の記録となった。

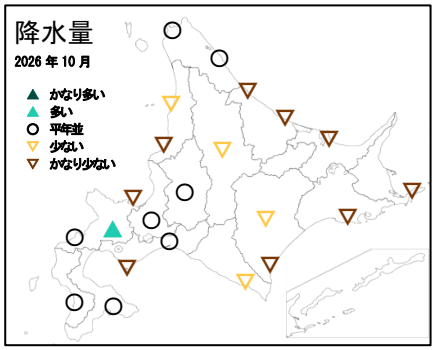
上旬：移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北海道地方の気温は高く、日照時間はかなり多く、降水量は少なかった。

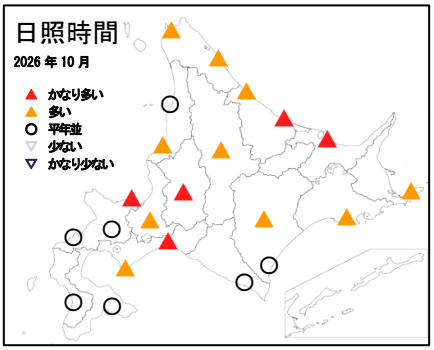
中旬：低気圧が北海道の北を通過することが多く、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、北海道地方の降水量は少なかった。偏西風が平年より北を流れて暖かい空気に覆われやすく、また低気圧に向かう暖かい空気が流れ込む日も多かったため、気温はかなり高かった。特に、太平洋側の旬平均気温の平年差は、1946 年の統計開始以降、10 月中旬として大きい方から第 2 位の記録となった。

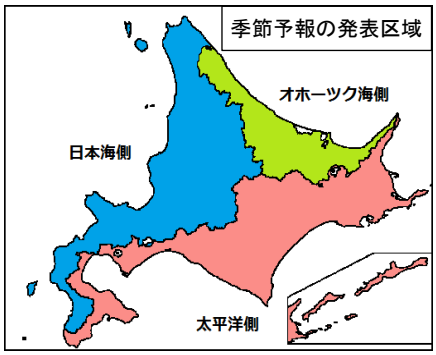
下旬：低気圧に向かう暖かい空気が流れ込む日と、西高東低の気圧配置で冷たい空気が流れ込む日が、短い周期で入れ替わったため、気温の変動が大きかった。西高東低の気圧配置が強まった 22 日と 28 日には、各地で初雪を観測した。

階級分布図









※　本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。

※　概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。

※　データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+1.1**	**＋＋**	**68**	**－－**	**110**	**＋**
日本海側	+1.1	＋＋	87	0	110	＋
オホーツク海側	+0.9	＋	54	－	115	＋＋
太平洋側	+1.2	＋＋	53	－	107	＋

旬の統計値（地域平均）

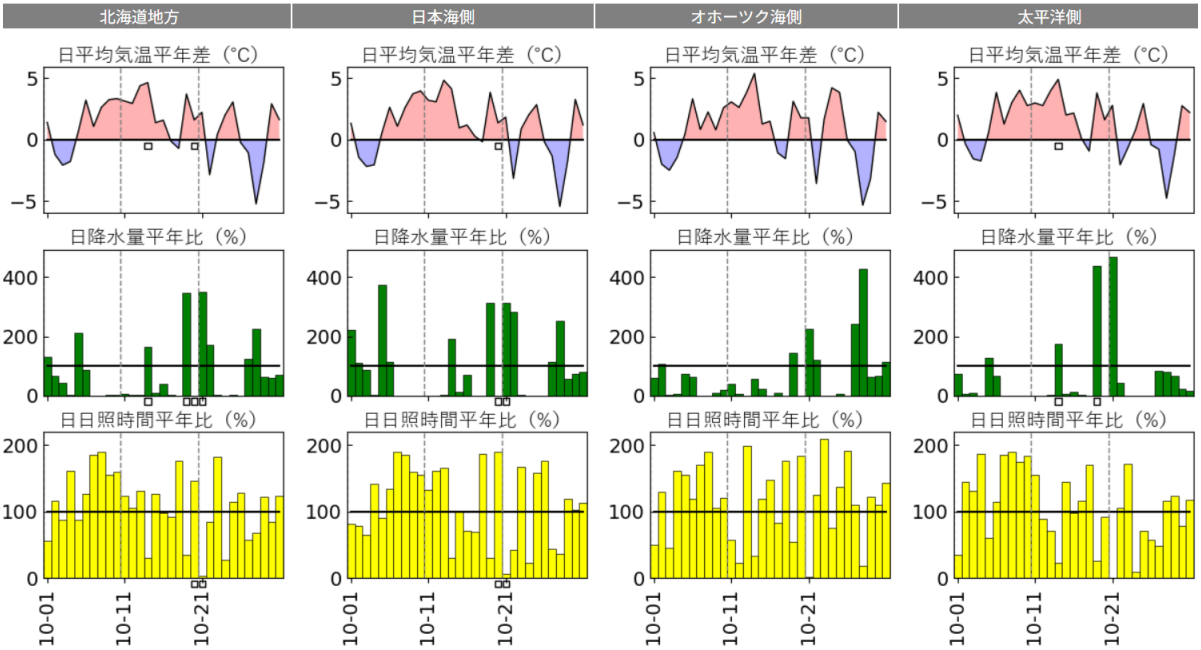
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+1.0**	**＋**	**56**	**－**	**134**	**＋＋**
日本海側	+1.0	＋	93	0	128	＋＋
オホーツク海側	+0.5	0	30	－	125	＋
太平洋側	+1.3	＋	23	－－	145	＋＋

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**+2.3**	**＋＋**	**59**	**－**	**105**	**0**
日本海側	+2.4	＋＋	60	－	112	＋
オホーツク海側	+2.0	＋	30	－	105	0
太平洋側	+2.4	＋＋	72	0	95	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	**0.0**	**0**	**94**	**0**	**91**	**0**
日本海側	−0.1	0	103	0	88	－
オホーツク海側	+0.2	0	105	0	114	＋
太平洋側	+0.1	0	78	0	83	－

注）・数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の＋＋は平年よりかなり高い(多い)、＋は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注）グラフ横軸（日付）の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温 本年 ℃	平年差 ℃	階級	降水量 本年 mm	平年比 %	階級	日照時間 本年 h	平年比 %	階級
札 幌	13.3）	+1.2	＋＋	90.5）	82	0	163.3）	112	＋
稚 内	11.7	+0.4	0	128.5	99	0	151.2	112	＋
北見枝幸	10.8	+0.5	＋	121.5	95	0	154.7	109	＋
旭 川	10.6	+1.2	＋＋	75.0	71	－	147.5	117	＋
留 萌	12.5	+1.4	＋＋	75.0	57	－－	141.0	113	＋
羽 幌	12.7	+1.5	＋＋	117.0	77	－	130.0	104	0
岩見沢	11.9	+1.1	＋＋	103.5	94	0	167.2	121	＋＋
倶知安	10.6	+0.9	＋	171.5	134	＋	129.9	102	0
小 樽	12.9	+1.1	＋＋	72.0	59	－－	169.9	122	＋＋
寿 都	13.2	+1.1	＋＋	133.0	104	0	123.0	101	0
網 走	11.8	+0.9	＋	30.0	34	－－	187.1	119	＋＋
紋 別	11.6	+1.1	＋＋	32.0	36	－－	173.0	116	＋＋
雄 武	10.8	+1.0	＋＋	43.5	47	－－	173.4	115	＋
釧 路	12.8	+1.8	＋＋	38.0	34	－－	192.5	109	＋
根 室	13.1	+1.5	＋＋	35.5	28	－－	181.7	112	＋
帯 広	11.9	+1.6	＋＋	35.0	41	－	180.5	108	＋
広 尾	12.9	+1.6	＋＋	60.5	31	－－	165.6	101	0
室 蘭	13.6	+0.7	＋	57.0	56	－－	172.6	104	＋
苫小牧	12.4）	+0.9	＋	87.5）	77	0	181.7	116	＋＋
浦 河	13.0	+0.7	＋	87.5）	74	－	175.7	102	0
函 館	13.6	+1.1	＋	86.0	81	0	167.2	102	0
江 差	14.7	+1.0	＋＋	92.5	88	0	138.6	100	0

注）・地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「 ）」付きの値は欠測を含む。「 ］」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第３位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
10月	月平均気温の高い方から	第1位	留萌	12.5 ℃	+1.4 ℃	12.5 ℃ (2024)	1943
		第2位	羽幌	12.7 ℃	+1.5 ℃	12.8 ℃ (2024)	1921
			札幌	13.3 ℃	+1.2 ℃	13.8 ℃ (2024)	1876
			岩見沢	11.9 ℃	+1.1 ℃	12.6 ℃ (2024)	1946
			帯広	11.9 ℃	+1.6 ℃	12.2 ℃ (2024)	1892
			釧路	12.8 ℃	+1.8 ℃	13.4 ℃ (2024)	1910
			広尾	12.9 ℃	+1.6 ℃	13.6 ℃ (2024)	1958
		第3位	旭川	10.6 ℃	+1.2 ℃	11.0 ℃ (2024)	1888
			根室	13.1 ℃	+1.5 ℃	13.6 ℃ (2024)	1879

注）・地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先　　札幌管区気象台　気象防災部　予報課
TEL　（０１１）６７６－５０２５